

## 使用上の注意改訂のお知らせ

2024年12月  
沢井製薬株式会社

レニン・アンジオテンシン系降圧剤  
処方箋医薬品  
カプトプリル錠  
**カプトプリル錠 12.5「SW」**  
**カプトプリル錠 25「SW」**

この度、下記のとおり使用上の注意を改訂致しますので、お知らせ申し上げます。

## 1. 改訂内容（下線部改訂又は追加箇所、取り消し線部削除箇所）

改訂後	改訂前																								
<p>2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)</p> <p>2.7 アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬（サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物）を投与中の患者、あるいは投与中止から36時間以内の患者[10.1参照]</p> <p>10. 相互作用</p> <p>10.1 併用禁忌(併用しないこと)</p> <table><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬(ARNI) サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物(エンレスト) [2.7参照]</td><td>血管浮腫があらわれるおそれがある。本剤投与終了後にARNIを投与する場合は、本剤の最終投与から36時間後までは投与しないこと。また、ARNIが投与されている場合は、少なくとも本剤投与開始36時間前に中止すること。</td><td>併用により相加的にブラジキニンの分解が抑制され、ブラジキニンの血中濃度が上昇する可能性がある。</td></tr></tbody></table> <p>10.2 併用注意(併用に注意すること)</p> <table><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td colspan="3">〈該当項目削除〉</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬(ARNI) サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物(エンレスト) [2.7参照]	血管浮腫があらわれるおそれがある。本剤投与終了後にARNIを投与する場合は、本剤の最終投与から36時間後までは投与しないこと。また、ARNIが投与されている場合は、少なくとも本剤投与開始36時間前に中止すること。	併用により相加的にブラジキニンの分解が抑制され、ブラジキニンの血中濃度が上昇する可能性がある。	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	〈該当項目削除〉			<p>2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)</p> <p>〈該当項目なし〉</p> <p>10. 相互作用</p> <p>10.1 併用禁忌(併用しないこと)</p> <table><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td colspan="3">〈該当項目なし〉</td></tr></tbody></table> <p>10.2 併用注意(併用に注意すること)</p> <table><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>アドレナリン作動性ニューロン遮断薬 デアネチジン硫酸塩</td><td>降圧作用が増強されるおそれがある。</td><td>両剤の降圧作用にまる。</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	〈該当項目なし〉			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	アドレナリン作動性ニューロン遮断薬 デアネチジン硫酸塩	降圧作用が増強されるおそれがある。	両剤の降圧作用にまる。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																							
アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬(ARNI) サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物(エンレスト) [2.7参照]	血管浮腫があらわれるおそれがある。本剤投与終了後にARNIを投与する場合は、本剤の最終投与から36時間後までは投与しないこと。また、ARNIが投与されている場合は、少なくとも本剤投与開始36時間前に中止すること。	併用により相加的にブラジキニンの分解が抑制され、ブラジキニンの血中濃度が上昇する可能性がある。																							
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																							
〈該当項目削除〉																									
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																							
〈該当項目なし〉																									
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																							
アドレナリン作動性ニューロン遮断薬 デアネチジン硫酸塩	降圧作用が増強されるおそれがある。	両剤の降圧作用にまる。																							

## 2. 改訂理由

## 自主改訂

相互作用相手薬との記載の整合を図るため、改訂致しました。また、販売が中止されている薬剤を削除致しました。





改訂後の電子添文につきましては、医薬品医療機器総合機構ホームページ(<https://www.pmda.go.jp>)および  
弊社の医療関係者向け総合情報サイト(<https://med.sawai.co.jp>)に掲載しております。

カプトプリル錠 12.5/25[SW]



(01)14987080231117